

健診で精密健診やその他の相談を勧められたら？

健診の後に「委託先の医療機関を受診してください」「別日に個別でもう1度相談を受けてください」と言われると、多くの方は「えっ」と驚かれることと思います。「うちの子は発達に問題があるのかな？」「何か自分の対応がまずかったのかな？」と悩まれることもあるでしょう。

そんな時は、「プロに話を聞くチャンス」ととらえてみてください。1歳6か月児・3歳児の集団検診では特に、慣れない場所で長時間待たされ、お子さんの実力が発揮できなかつたりすることも多いかと思えます。

精密健診や保健センターの個別相談では、個別でお子さんの日頃の様子をじっくりみてもらえます。もし心配な点があれば適切な対応について教えてもらえるはずで。

「数か月後にまた受診してくださいね」とか、「さらに専門機関を紹介しましょう」と言われることもあるかもしれませんが、「またか…」と思わずに早めに受診・相談してみてください。特に、専門の医療機関は、初診までに時間がかかることもありますので、早めに予約されることをお勧めします。

健診時に紹介されなくても、保護者が不安に思っている場合は、まず保健福祉センターやかかりつけ医にご相談ください。その後、必要に応じて経過観察を受けたり、専門の医療機関受診を勧められることもあります。

静岡県のホームページには、各地域の「発達障害を診療等可能な医療機関」が掲載されていますので、必要に応じてご活用ください。

<https://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-320/hattatu2017.html>

（紹介状が必要な場合もあります）

なお、小さなお子さんの場合は「発達障害、と言い切れる診断はまだつかない」といわれることもありますし、「定期的なフォローはできないけど、療育等に必要な書類を書くよ」と言ってもらえる場合もあります。

また、「あえて言えば自閉スペクトラム症かな」「だから、こういう対応がいいよ」など言われる場合もあります。ぜひ、「子どもの特性を知って、親子で安心して過ごせるための第1歩」と考えて専門家に相談してみてください。



子どもの発達が気になる、育児がうまくいかないと思う時、地元の保健師さんに相談してみましよう。お母さんの気持ちに寄り添って不安や心配を聞いてくれます。話を聞いてもらうことでお母さんの気持ちが整理されます。その上で子育てへのアドバイスや様々な相談支援の方法を教えてください。お母さん一人で悩まないで保健師さんに相談してみてください。

体験談



1歳半健診で保健師からすすめられて、最初は「えっ」と思ったが、希望者を対象とした保健センターの親子教室に月2回通った。これが、とても楽しかった。理解のないダンナには子どものことを話せなかったから、ここでの友達や先生の存在が大きな支えとなった。



3歳児健診で「単語のみ 2語文なし 発音不明瞭」でした。幼稚園入園後、3歳8カ月の時保健センターに相談、保健師が園訪問した際、「集団行動がとれず、常に個別の声掛けが必要。うまく伝えられないため思い通りにならないとかんしゃく、友達とトラブルがある」ため、4歳1か月（年少の終わり）に専門の医療機関受診し、作業療法を開始。身体の使い方が不器用で、走り方がぎこちなく転びやすい、手先も不器用ではしが使えなかったが、2年間の訓練で走り方が安定。はしが上手につかえるようになり、鉛筆も上手に持てるようになりました。人との関わり方も訓練の先生と体験したことで、慣れた人とのコミュニケーションが上手になったり、困った時に相談、聞くことが出来るようになりました。



当時のかかりつけ医の先生が診察時の様子から、気にして声をかけてくれた。紹介状を書いてくれて、専門の医療機関につながる。そのOT（作業療法）が大好きだった。